

LET'S GO 4WD

MONTHLY MAGAZINE FOR REAL OFF-ROADER
レッツゴー4WD 2013年8月号 別冊付録

シンプルにカスタマイズを楽しむか? ガッツリ
スタイリングに手を加えるか? 選ぶのは貴方!

JK CUSTOMIZE
PRO SHOP
NEW LINE UP
BEST 7



JEEP JK WRANGLER NEW CUSTOM BOOK

JOINT



SHUEI



STAGE FOUR



JAOS



日々進化を続ける JK ラングラーのカスタマイズ。プロショップからは、熱狂的な JK ファンはもちろん、新たな JK ファンに向けて、カスタム欲をガンガン刺激する新たなスタイリングが誕生している。ということで、7つのプロショップが手掛けたカスタマイズ JK WRANGLER を紹介しよう。

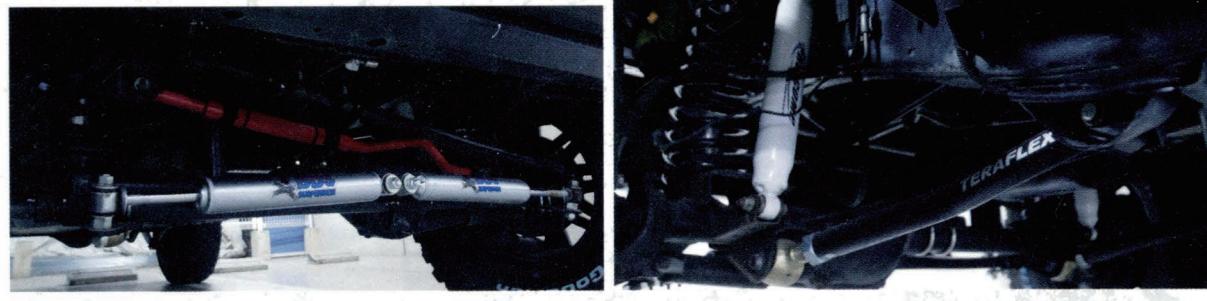


ボンネットはAEVで、前後バンパーはラギッドリッジ製品で統一。スベアタイヤホルダーも同社製品で、バンパーで保持する仕様に変更。37×12.5R17のBFG KM2にラギッドリッジのアルミを組み合わせる。スラント形状がスポーティ感を強調させるFRPトップは、ワイルドボアのアイテム。最先端のアイテムを注入。



各部灯火類は徹底的にLED化を実施。テールライトはもちろん、ヘッドライトや追加ランプ、果てはサイドステップに至るまで変更し、色の統一を実施。昼間はもちろんだが、夜見ても美しいスタイルだと言えよう。ちなみに、一昔前までは大型ランプを装着するのが四駆らしいスタイルであったが、LEDの普及で最近ではコンパクト&シンプルなスタイルが一般的になっている。まさに時代を先取りした仕様だ。

足回りはプロコンプのキットをベースに、リフトアップを実施。更にテラフレックスのアームに交換することで、タイヤを37インチまでサイズアップ。AXの最大の特徴と言えるのが、快適な街乗り性能の追求。そのためMTタイヤの中では比較的快適なBFGをチョイス。また、ステアリングダンパーを追加するなど、細部までこだわりぬいている。



基本的に車内はノーマル。これにオリジナルのLED ルームランプやウッドパネル、シートカバーを装着し、イマドキなスタイルに変身。ちなみにウッドパネルは、センターコンソールやシフトゲート部までセットになっている。ノーマルはプラスチックの質感が強く少々無機質なインテリアだが、そこに華を添えてくれる。



四駆に詳しくない女の子でも、その姿を見ればジープという名称が出てくる。それほど絶大な知名度を誇るジープの血脈において最新モデルとなるJKラングラーは、シリーズ初となる5ドアモデルが最大のトピックスと言える。もちろん、オフロードカーとしての

の本質は損なっておらず、リアルオフローダーの評価も高い。それゆえ、オフロード指向のカスタムが主流となるのは否めない。そんな流れに対し、敢えて都会的でスタイリッシュなカスタムを提案するのが、名古屋にあるAXだ。リフトアップを施し、37インチタイヤを装着。前後バンパーをスチール製に交換するなど、全体像に関しては比較的に慣れたスタイル。しかしながら、各部を良く見てみると、見た目だけでなく乗り心地を重視して、BFGグッドリッチのMT KM2をチョイス。また、快適なハンドリングを実現すべくステアリングダンパーも追加。さらに37インチタイヤを装着しつつも、乗降性をスポイルしないよう電動格納式のサイドステップを装着。もちろん各灯火類はLED化され、まさにイマドキのカスタムが盛り込まれている。極めつけは、FRPトップをファストバックスタイルに交換。日本での知名度はこれからだが、アメリカでは絶大な人気を誇るワイルドボア製で、実用性よりスタイルを最優先する辺りは潔さも感じる。

四駆らしいスタイルだけでなく快適性も求めたいのなら、一度AXに相談してみてもいいかな？

最先端のアイテムでオシャレ四駆を創造

自動車販売業として10年以上の歴史を持ち、昨年新店舗に移転したAX(アックス)。ジープ=オフロードという既存の固定概念を完全に打ち砕き、都会でオシャレに乗りこなせるように追求したのが、このJKアンリミテッドだ。

NEW CUSTOMIZE JK WRANGLER

AX



アックス

- 所在地: 〒458-0835 愛知県名古屋市緑区鳴海町下汐田131-1
- TEL: 052-626-5031
- FAX: 052-626-5032
- 営業時間: 10:00-20:00
- 定休日: 月曜日
- URL: <http://www.ax-net.jp/>

